



恋ヶ窪保育園病後児保育室だより

たんぽぽ★キッズ

令和7年度
春夏号

ご予約お問い合わせ 042-325-0465 (平日 8時~18時 30分)

たんぽぽってどんなところ

「症状は良くなってきたけれど、まだ保育園に行かせるのは心配」「けがをして、しばらく集団生活が難しい」というような病気・けがの回復期にあるお子さまをお預かりします。少人数で、家庭的な温かい雰囲気の中でお子さまが気持ちよく過ごすことができ、保護者の方の心配が少しでも減るようにサポートいたします。

受け入れの目安

お子さんが病気から回復したけど、保育園に行くにはちょっと・・・という時に利用目安をご紹介します。

- 体温 38℃前後まで
- 脱水症状がない
- 水分や食事を摂れる
- 連続した嘔吐や下痢がない
- 呼吸困難や異常呼吸がない
- 医師連絡票に病後児保育可能との診断がある
- 登園許可証の必要な疾患ではない
(インフルエンザ、水ぼうそう、風疹など)

※許可証の発行後は利用可能です。



“たんぽぽ”は「お熱の保育園」なんだよね



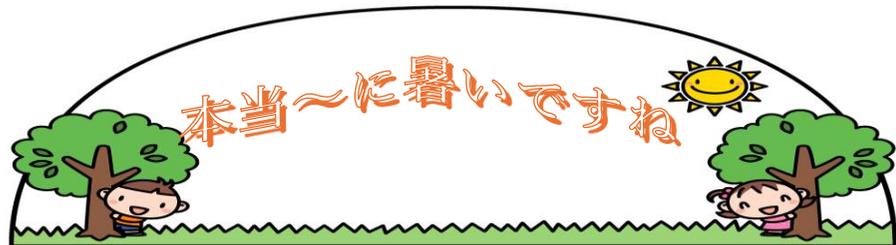
「お熱がでたら、たんぽぽさんなんだよ～」と利用した子どもたちから声をよく聞きます。「病気の保育室」というイメージから、ずっと横になっていて、玩具が少なくつまらないというイメージがありますが、そんなことはありません。子どもは、お熱が少し下がるとすぐに遊びたい気持ちが湧いてきます。子どもたちがしたい遊びと、病気の時でも出来る遊びを考えながら保育を行っています。たんぽぽに来て「今日は、楽しかった」と子どもたちに思ってもらえるような一日になって欲しいと願っています。定員4人の保育室で地域のお友だちも利用できます。一人ひとりの体調の回復具合にあわせて生活でき、専任看護師と保育士が常駐しているので、症状の変化にも早く気がつくことができます。利用に関してご相談もできますので、お気軽に声をかけてください。



「骨折」時の利用について

病後児保育室では、骨折や怪我の回復途中のお子様も安全に安心して過ごしていただけるよう努めています。ご利用にあたり医師の診断やご家庭でのケア状況、お子様の怪我状態や回復に応じたサポートについて等を個別に相談させていただきます。





夏場に、利用が多い感染症

夏の時期は温度や湿度が高くなることから、感染症が流行しやすい季節でもあります。例年この時期になると、手足口病、プール熱、ヘルパンギーナやウイルス性胃腸炎などのお子様の利用が多く見られます。どの病気も熱が下がり食事や水分摂取がしっかりとれることが、通常保育に登園できる目安となります。夏の暑さに負けないように、病後児保育を利用して体調をしっかりと整えてから通常保育に登園したいですね。



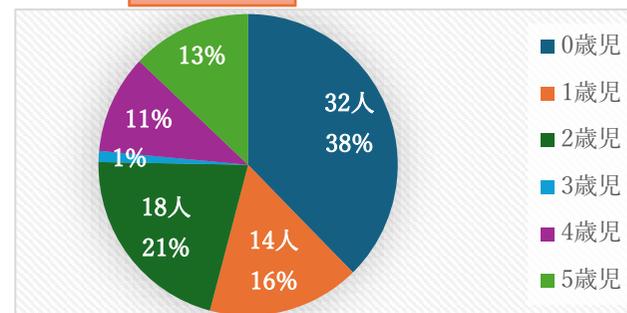
令和7年度4月～7月利用状況(延べ利用人数)

新しい生活も始まりやっとな、環境に慣れてきたころ、季節の変わり目と気温の変化等で体調を崩すお子さんの利用が多くみられました。利用されたお子さんの主な症状は咽頭炎上気道炎で、0, 1, 2歳児のお子さんが多く見られました。平均2～3日のご利用で体調も回復し通常保育に登園していきました。

主な疾患

咽頭炎・上気道炎 . . . 52名
 気管支炎 . . . 13名
 感染性胃腸 . . . 1名
 クループ症候群 . 3名
 外傷 . . . 12名
 その他(喘息発作喘息性気管支炎) . . 4名
 合計 85名

利用年齢



いつでもご利用
お待ちしております。



保育室から
お知らせがあります。

当日でも、保育室に空きがある場合は、ご利用可能です。急なお子様の発熱や体調不良で保育が必要な際には、お問い合わせください。



おたより命名への思い



たんぽぽだよりを「たんぽぽ★キッズ」に名称変更しました。たんぽぽは、どんな狭く小さな場所でも、根をはり、風によって新しい場所へと旅立ち、元気に花を咲かせます。そんな、たんぽぽのように、病気から病気回復に向かっている地域の子どもが元気になり、地域の中に、たんぽぽの花のように笑顔が輝いて過ごして欲しいという担当者の願いから名付けました。どうぞよろしく願いいたします。

